

令和4年度 環境で地域を元気にする  
地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業

## 成果共有会 発表資料

活動団体の本事業への関わり

今年度より“環境整備”に取り組む	✓
昨年度から引き続き“環境整備”に取り組む	

活動団体名：合同会社ローカルSDクリエイション

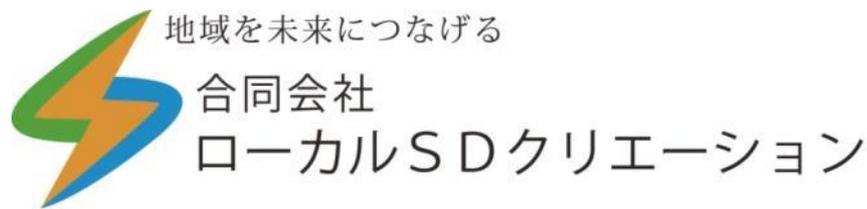
活動地域：福井県丹南地域

活動におけるテーマ

『里山整備副産物を利用した海洋資源保全に関するコンソーシアムの構築』

# 活動団体および活動地域の紹介

活動団体：



設立：2020年4月

企業理念：

自然環境を基軸に地域の資源を発掘・創造・活用し地域の持続的発展（Local sustainability development）の創造を目指す

## 地域の現状と課題

多様な地域資源



里地里山・里海



環境に配慮した米



コウノトリ



交流体験を行う団体



農家民泊



2023年度末  
北陸新幹線敦賀延伸

福井県を訪れる観光客のうち  
自然目的は第3位！（R2年度）



観光需要を活用し、都市住民との  
交流による里地里山・里海の保全  
体験を活性化するチャンス！

# 地域循環共生圏を実現することで目指す地域の姿

福井県丹南版 地域循環共生圏マंडラ (2023年2月現在)

活動テーマ: 里山整備副産物を利用した海洋資源保全に関するコンソーシアムの構築 (活動1年目)

地域の自然を基盤に農林水産業と人と人が絆で結ばれた経済循環を構築することで里山・里海を元気に!



## 活動① 里山の保全

※主体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水の里しらやま</li> <li>・ 白山自治振興会</li> <li>・ 里楽の会</li> <li>・ 赤坂みらい塾</li> <li>・ サトツナギ</li> <li>・ 水辺と生き物を守る農家と市民の会</li> </ul>
活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 里地里山の保全体験での収益化プログラムの企画・運営(竹炊飯、アウトドア料理、森カフェ等)</li> <li>・ 自然環境保全活動への体験者の受け入れや指導者の人材育成</li> </ul>
主体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農家民泊</li> <li>・ 太陽広場(キャンプ場)</li> <li>・ 金華山グリーンランド(コテージ)</li> </ul>
活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の活動団体連携した体験参加者の宿泊者受け入れ</li> </ul>
主体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境省</li> <li>・ 福井県自然環境課</li> <li>・ 里山里海湖研究所</li> <li>・ 越前市農政課</li> </ul>
活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専門的知見からのアドバイスや各種活動支援</li> <li>・ 役所内及び地元調整支援</li> </ul>
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 荒廃した竹林をはじめとした里山の環境向上</li> <li>・ 自然環境教育の普及・啓発</li> <li>・ 竹の利用価値の再認識</li> <li>・ 自立的資金調達による持続的活動の創出</li> </ul>

## 地域の自然環境を活用した保全・交流体験活動を連携

収益化  
自立的資金調達で持続的な環境活動の循環

貢献②

**経済** 収益プログラム運営による地元観光業への経済効果、グリーンツーリズム活性化

## 協働と連携構築(支援・ハブ組織)

主体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 合同会社ローカルSDクリエーション</li> <li>・ 金融機関(予定)</li> <li>・ EPO中部</li> <li>・ 旅行会社(予定)</li> <li>・ 観光協会(予定)</li> </ul>
活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 里山保全などに取り組む団体と企業等との活動連携コーディネート及び伴走支援</li> <li>・ 各主体による里山里海保全活動のPR(ポータルサイトなど)やツアー運営</li> <li>・ 融資、クラウドファンディング等の活動資金調達に関する相談や支援</li> </ul>
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自然環境保全活動の自立的資金調達</li> <li>・ 丹南地域の観光産業の活性化</li> <li>・ 地域の自然環境の魅力の周知や農産物のブランディング強化</li> </ul>

貢献③

**社会** 自然環境教育の普及・啓発、流域連携保全の構築、活動団体と企業との連携構築、里山と里海保全のつながり創出

## 活動② 里海の保全

主体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ダイビングショップアクアマリン福井</li> <li>・ 合同会社ローカルSDクリエーション</li> <li>・ 漁協・海士協会</li> <li>・ 水の里しらやま</li> <li>・ 越前町(予定)</li> <li>・ 里山里海湖研究所</li> </ul>
活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 竹林整備体験で出た竹を用いた漁礁の作成指導と設置</li> <li>・ ビーチコーミングを活用した海洋ごみの回収とインテリア等への活用</li> </ul>
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 海洋生態系の保全</li> <li>・ 自然環境教育の普及・啓発</li> <li>・ 竹や海洋漂着物の利用価値の再認識</li> </ul>

## 活動③ 魚礁の効果検証

主体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ダイビングショップアクアマリン福井</li> <li>・ 合同会社ローカルSDクリエーション</li> <li>・ 地元旅館</li> <li>・ 里山里海湖研究所</li> </ul>
活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 効果的な魚礁の開発と効果の検証</li> <li>・ ショッピングによる魚礁の観察会の開催</li> <li>・ 設置した魚礁の様子をSNS等で情報発信</li> </ul>
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 里山資源のワズニュース、流域連携保全構築</li> <li>・ 水産資源の産卵床や隠れ家の創出</li> <li>・ 収益事業としての運用、観光産業の活性化</li> </ul>

※主体の説明:   
■ 活動団体   
■ 宿泊事業者   
■ 民間企業   
■ 行政機関

# 地域のありたい未来実現のための これまでの歩み

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事業全体の予定			全国キックオフミーティング					〇〇ブロック中間共有会				全国成果共有会
実施したこと			例) SHヒアリング							SHミーティング		先進地調査
		モデル事業企画	モデル事業実施					基本計画案策定		連携プログラム企画		
			魚礁づくり		魚礁づくり	スノーケリング観察会						

## ・ 竹魚礁制作モニタープログラムの実施（2団体：2回）



1回目 6月18日



2回目 9月19日

### 【参加者の方々のご意見】

- ・ 竹を使った流しそうめん、ごはん竹のワークショップ希望。
- ・ 魚礁づくりは達成感が感じられた。
- ・ 竹を切ったのが楽しかった。
- ・ 魚の棲みかを作るのが大変だったけど楽しかった。
- ・ 少人数の参加で動きやすかった。
- ・ ご飯だけでなくおかずもきれいで美味しかった。

### 【気づきと課題】

- ・ 収益化に見合うのサービスを提供できるプログラム開発
- ・ 環境活動に対する収益化への抵抗感。

## ・ 竹魚礁の設置効果検証



### 【成果】

- ・ 12基を設置
- ・ ギンボ等の産卵を確認。

### 【気づきと課題】

- ・ 設置や調査に関する資金調達と情報発信の必要性

## ・ SHミーティングの開催



1月18日：赤坂みらい塾

地域内の農家カフェに、ステーキホルダーが集まり事業のアイデア出しと次年度の連携について意見交換。

### 【成果】

- ・ シュノーケリングやファンダイブ体験と地元の宿泊施設の連携ツアーや里山連携のプログラムの実施などのいくつかの事業企画を立案。

### 【気づき】

- ・ 将来像を考えるための意見交換の場を設ける重要性

# 現状の地域プラットフォームと取組を通じての変化

## 【現状の地域プラットフォーム】

### 概要

テーマとして行っている3つの事業を事務局の弊社がハブ組織となり  
関係団体、ダイビングショップ、行政など関係機関をつなぐことで実施

### 事業企画や合意形成

事業の企画等はSHミーティングや個別打ち合わせにより立案

### 情報発信

弊社ホームページやEPO中部など支援組織が実施

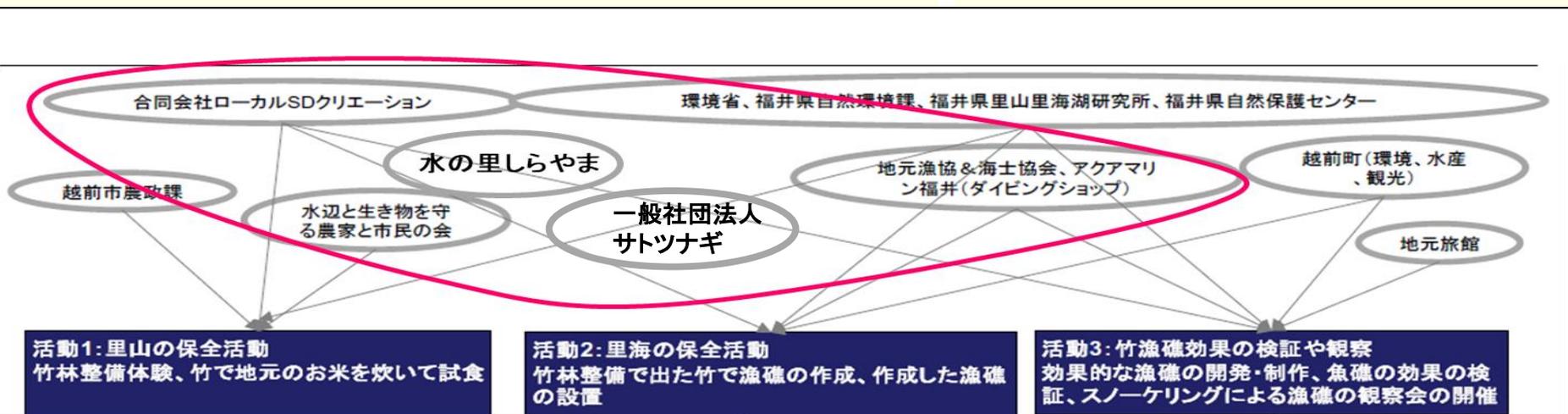
## 【地域プラットフォームの変化】

### 地域プラットフォームの変化

少しではあるがコアメンバーの拡がりがあった。  
また、これまで関係のなかったメンバーが集まり、  
アイデアを出しあったことで新たな連携事業の企画につながった。

### 例)

- ・ビーチコーミングを活用した工芸品作成
- ・シュノーケリングやファンダイブツアーと里山保全体験や宿泊施設の連携



出典: EPO中部「活動見える化プログラム」チャート図

# 取組を通しての成果と新たに見えてきた課題

## 取組全体を通しての成果

### ◆ 環境

- 荒廃した竹林をはじめとした里山の環境向上
- 水産資源の産卵床や隠れ家の創出

### ◆ 経済

- 自立的資金調達による持続的活動の創出への意識向上

### ◆ 社会

- 里山資源のワイズユース、流域連携保全構築海洋生態系の保全
- 自然環境教育の普及・啓発
- 竹や海洋漂着物の利用価値の再認識



## 取組全体の課題

### ◆ 環境

- 活動ノウハウと人材育成
- 活動による効果の専門的検証

### ◆ 経済

- CFなどを活用した多角的な資金調達
- 環境活動の収益化への抵抗感、
- 収益化に見合ったサービスの提供

### ◆ 社会

- 情報発信などの充実
- SH内間の自然再生への価値観の差
- 地域の自然環境の魅力の周知や農産物のブランディング強化

# 活動における今後の展望

## 【今後のチャレンジ】

- 収益化プログラムの運用

収益化できる価格に見合った体験プログラムの開発、旅行会社など一般企業と協力した事業企画

- 金融機関との連携

地域の自然資源や農林業資源を活用し起業や創業を目指すメンバーの発掘と支援、CFなど多面的な資金調達方法の模索

- 情報発信の充実

SNS等を用いた情報発信サイトの立ち上げと運営、情報発信による活動のPRと社会的注目度の、増加

## 【2030年には・・・】

丹南地域の自然を基盤に農林水産業と人と人が絆で結ばれた経済循環を構築することで元気な里山・里海

地域の自然環境を活用した保全・交流体験活動を連携



収益化

自立的資金調達で持続的な環境活動の循環